

# TM-T88VI-DT2 Utility ユーザーズマニュアル

---

## 概要

TM-T88VI-DT2 Utilityの特長や動作環境、インストールおよびアンインストールについて説明します。

## 使い方

TM-T88VI-DT2 Utilityの使い方について説明します。

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

## 商標について

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>、Windows Vista<sup>®</sup>、Windows Server<sup>®</sup> は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2018. All rights reserved.

# 安全のために

## 記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

### 注意

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

### 参考

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

## 使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

# 本書について

## 本書の目的

本書は、TM-T88VI-DT2 Utility の使い方を説明しています。

## 本書の構成

本書は以下のように構成されています。

第 1 章 [概要](#)

第 2 章 [使い方](#)

# 目次

■ 安全のために .....	3
記号の意味 .....	3
■ 使用制限 .....	3
■ 本書について .....	4
本書の目的 .....	4
本書の構成 .....	4
■ 目次 .....	5

---

<b>概要 .....</b>	<b>6</b>
■ 機能一覧 .....	6
■ サポート OS .....	8
■ インストール .....	9
■ アンインストール .....	10
■ OS による違い .....	11

---

<b>使い方 .....</b>	<b>12</b>
■ ユーティリティの起動 .....	12
ユーティリティを起動する .....	12
■ プリンターへの設定 .....	15
■ 現在の設定 .....	16
■ ロゴの登録 .....	18
ロゴの登録 .....	20
■ 用紙節約 .....	25
■ 自動用紙カット .....	27
■ 印刷制御 .....	29
■ デバイスフォント .....	30
■ TM-Intelligent/Network .....	31
■ 動作テスト .....	33
■ 設定の保存と復元 .....	34
プリンターの設定をファイルに保存する .....	34
設定をプリンターに復元する .....	35

---

<b>Acknowledgements .....</b>	<b>36</b>
-------------------------------	-----------

# 概要

「TM-T88VI-DT2 Utility」は、TM-T88VI-DT2 のソフトウェア設定を確認・設定する、TM-T88VI-DT2 専用の Windows 対応アプリケーションです。

本ユーティリティーは TM-T88VI-DT2 にインストールされているので、TM-T88VI-DT2 の Windows から起動して、ソフトウェア設定を確認・設定できます。また、外部のコンピューターにインストールして、ネットワーク経由でソフトウェア設定を確認・設定することもできます。

本章では、ユーティリティーの機能一覧、動作 OS、インストールとアンインストール方法について説明しています。

## 機能一覧

本ユーティリティーの機能は以下のとおりです。

メニュー		機能
メイン		プリンターの印刷に関する機能を設定します。
現在の設定		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の設定</li> </ul> <a href="#">16 ページ</a>
基本設定	ロゴの登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロゴの登録</li> </ul> <a href="#">18 ページ</a>
	用紙節約	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下余白の削減</li> <li>行間 / 改行の削減率</li> <li>バーコード高さの削減率</li> <li>バックフィードによるトップマージン量</li> <li>文字高さの削減量</li> </ul> <a href="#">25 ページ</a>
	自動用紙カット	<ul style="list-style-type: none"> <li>カバークローズ時に用紙を自動カットする</li> <li>用紙カット時にロゴを印刷する</li> </ul> <a href="#">27 ページ</a>
	印刷制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙幅 - 桁数</li> <li>印字速度</li> <li>印字濃度</li> <li>多階調印字濃度</li> <li>オートカッターエラー解除方法の選択</li> </ul> <a href="#">29 ページ</a>
詳細設定	デバイスフォント	<ul style="list-style-type: none"> <li>デバイスフォントのコードページ</li> <li>国際文字セット</li> </ul> <a href="#">30 ページ</a>
TM-Intelligent/Network		ブラウザーで TMNet WebConfig を起動して、以下を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>TM インテリジェント機能</li> <li>ネットワーク設定</li> </ul> <a href="#">31 ページ</a>

メニュー	機能
動作テスト	<ul style="list-style-type: none"><li>動作テスト <a href="#">33 ページ</a></li></ul>
設定の保存と復元	<ul style="list-style-type: none"><li>プリンターの設定をファイルに保存する</li><li>保存したファイルから設定をプリンターに復元する <a href="#">34 ページ</a></li></ul>

# サポート OS

- Windows 10 (32 bit/64 bit)
- Windows 8.1 (32 bit/64 bit)
- Windows 8 (32 bit/64 bit)
- Windows 7 SP1 (32 bit/64 bit)
- Windows Vista SP2 (32 bit/64 bit)
- Windows Server 2019
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012
- Windows Server 2008 R2 SP1
- Windows Server 2008 SP2 (32 bit/64 bit)
- Windows Embedded Standard 7 (32 bit / 64 bit)

# インストール

本ユーティリティーは、TM-T88VI-DT2 にはインストールされているので、新たにインストールする必要はありません。本ユーティリティーを更新する場合、または外部のコンピューターにインストールする場合には、インストールパッケージをダウンロードしてから、以下の操作をしてください。

## 1 TM-T88VI-DT2UtilityXXX.exe を実行してください。

参考

管理者権限でインストールしてください。

## 2 画面の指示に従ってインストールしてください。

1

# アンインストール

以下の手順でアンインストールしてください。

- 1 コンピューターで実行している、他のすべての作業を終了します。
- 2 [スタート]-[設定]-[アプリ] を選択します。  
11 ページ「OS による違い」を参照してください。
- 3 "アプリと機能" 画面が表示されます。[EPSON TM-T88VI-DT2 Utility Ver.x.x] をクリックします。
- 4 [アンインストール] をクリックすると、アンインストールが始まります。  
画面の指示に従って操作してください。
- 5 アンインストールが正常に終了したメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

## OS による違い

本書では OS によって記載内容が異なる場合があります。以下を参照してください。

項目	説明
画面の説明	本書では Windows 10 の画面で説明をしています。 他の OS をご使用の場合は、読み換えてお使いください。
TM-T88VI-DT2 Utility の起動	Windows 10 [スタート] - [EPSON TM-T88VI-DT2] - [EPSON TM-T88VI-DT2 Utility] Windows 8.1/Windows 8 [スタート] - [すべてのアプリ] - [TM-T88VI-DT2 Utility] Windows 7 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-T88VI-DT2 Software] - [TM-T88VI-DT2 Utility] Windows Vista [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-T88VI-DT2 Software] - [TM-T88VI-DT2 Utility]
アンインストール	Windows 10 [スタート] - [設定] - [アプリ] (または [システム]) - [アプリと機能] Windows 8.1/Windows 8 [デスクトップ] - サイドバー [設定] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] Windows 7 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] Windows Vista [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール]

# 使い方

本章では、本ユーティリティの使い方について説明しています。

## 注意

設定の保存中は、プリンターの電源を切ったり、接続を切断したりしないでください。

## ユーティリティの起動

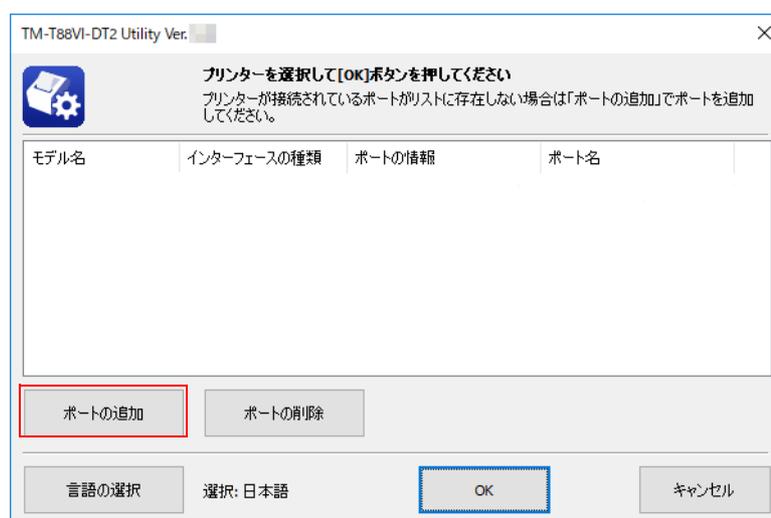
### ユーティリティを起動する

## 参考

外部のコンピューターから TM-T88VI-DT2 に接続する場合、事前に IP アドレスを設定してください。DHCP 環境の場合は、あらかじめ TM-T88VI-DT2 の IP アドレスを確認してください。

以下の手順で、本ユーティリティを起動します。

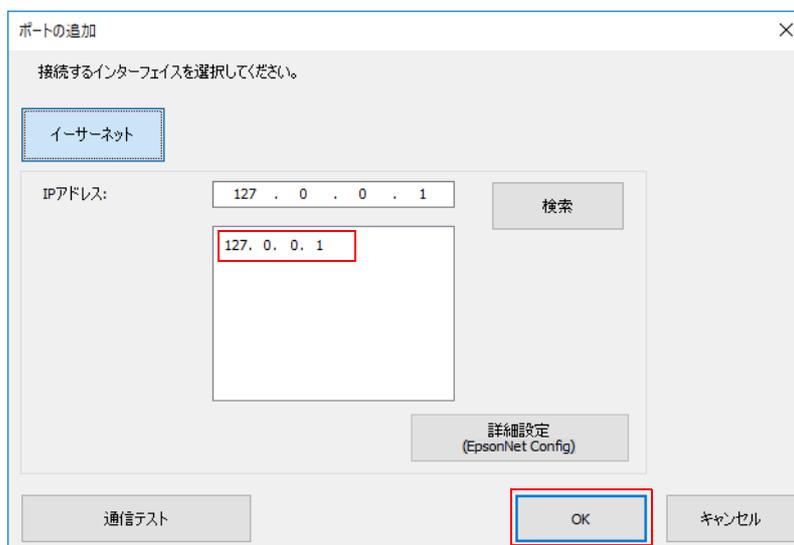
- 1 Windows を起動後、[ スタート ] - [ EPSON TM-T88VI-DT2 ] - [ EPSON TM-T88VI-DT2 Utility ] を選択します。  
お使いの OS ごとの操作については、11 ページ「OS による違い」を参照してください。
- 2 本ユーティリティの起動画面が表示されます。  
リストにプリンターが表示されない場合は、[ ポートの追加 ] をクリックします。  
リストにプリンターが表示されている場合は、IP アドレスを選択して、[ OK ] をクリックすると、本ユーティリティが起動します。以降は手順 5 を参照してください。



## 参考

表示する言語を変更したい場合、[ 言語の選択 ] をクリックします。

- 3** "ポートの追加"画面が表示されます。  
 リストに IP アドレスが表示されている場合、IP アドレスを選択して [OK] をクリックします。  
 リストに IP アドレスが表示されない場合、以下から設定してください。  
 TM-T88VI-DT2 から起動している場合、IP アドレスに 127.0.0.1 (ローカルホスト) を入力し、[OK] をクリックします。  
 外部のコンピューターから起動している場合、プリンターの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。



項目	説明
IP アドレス	使用するプリンターの IP アドレスを入力します。
検索	IP アドレスを再検索します。
詳細設定 (EpsonNet Config)	EpsonNet Config がインストールされていない場合は、選択できません。 
通信テスト	選択したプリンターと通信テストをして、結果を画面に表示します。 

- 4 起動画面に戻り、リストに追加した IP アドレスが表示されます。IP アドレスを選択して [OK] をクリックします。
- 5 TM-T88VI-DT2 Utility が起動します。"現在の設定" 画面に、プリンターと通信して取得した値が表示されます。

初めて接続したプリンターの場合、プリンターと通信できないときには本ユーティリティーが起動しません。この場合、以下を確認してください。

- ・プリンターがオンラインになっていること。
- ・ネットワーク通信ができること。
- ・ユーティリティーに設定した IP アドレスとプリンターの IP アドレスが合っていること。

### 参考

本ユーティリティーとの通信が確立して設定値を取得したプリンターの場合、プリンターと通信できなくても本ユーティリティーは起動します。このとき、"現在の設定" 画面には前回取得・設定した値を表示します。

プリンター名: TM-T88VI-DT2  
ポート: [REDACTED]

ステータス: オフライン

現在の設定

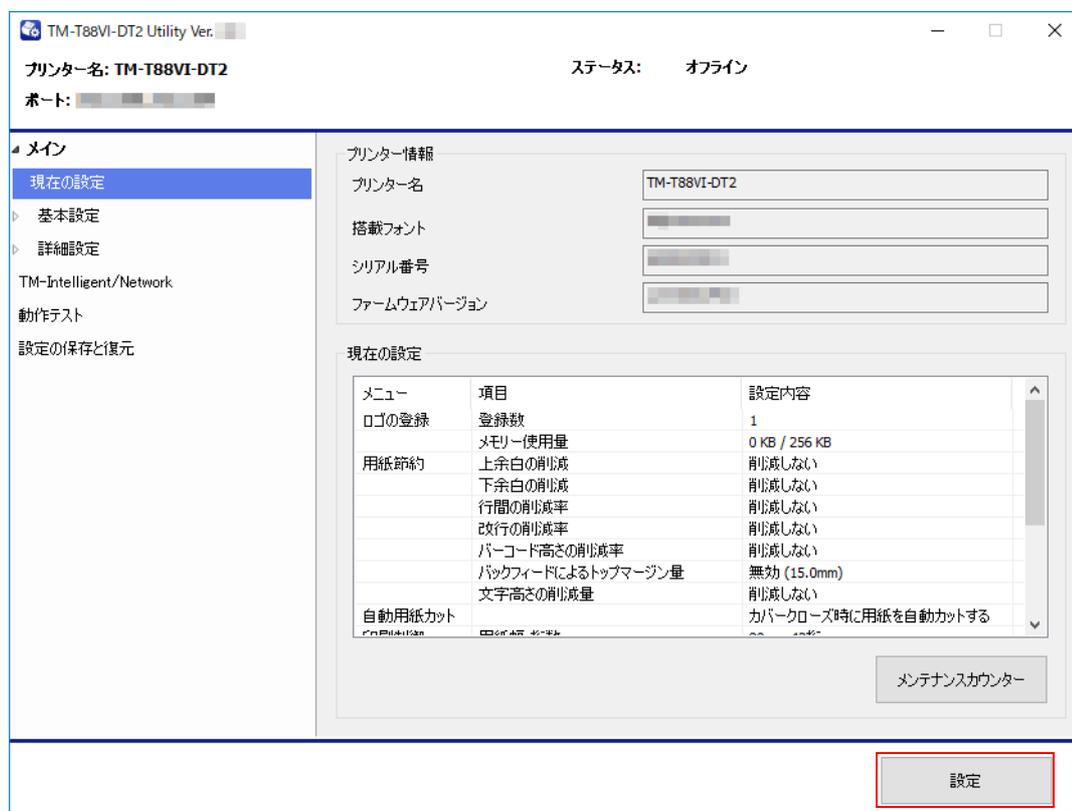
メニュー	項目	設定内容
ロゴの登録	登録数	1
用紙節約	メモリー使用量	0 KB / 256 KB
	上余白の削減	削減しない
	下余白の削減	削減しない
	行間の削減率	削減しない
	改行の削減率	削減しない
	バーコード高さの削減率	削減しない
	バックフィードによるトップマージン量	無効 (15.0mm)
自動用紙カット	文字高さの削減量	削減しない
	カバークローズ時に用紙を自動カットする	ON

メンテナンスカウンター

設定

# プリンターへの設定

プリンターへの設定は、本ユーティリティの各項目を設定した後に、[設定]をクリックします。



## 参考

あらかじめ各項目を設定してから、プリンターへの設定をすることをお勧めします。

## 現在の設定

プリンターから取得した、印刷に関する機能の設定値を表示します。  
[メイン]-[現在の設定]で表示します。

The screenshot shows a web-based settings interface for a printer. It is divided into two main sections: 'プリンター情報' (Printer Information) and '現在の設定' (Current Settings).

**プリンター情報** (Printer Information):

- プリンター名: TM-T88VI-DT2
- 搭載フォント: [Redacted]
- シリアル番号: [Redacted]
- ファームウェアバージョン: [Redacted]

**現在の設定** (Current Settings):

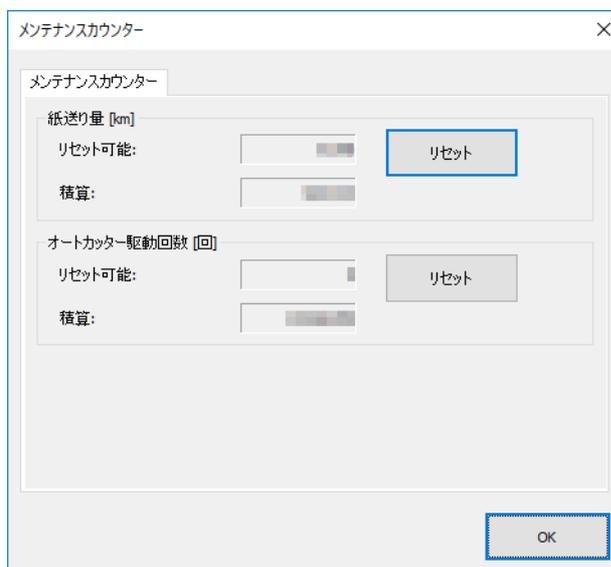
メニュー	項目	設定内容	
ロゴの登録	登録数	1	
	メモリー使用量	0 KB / 256 KB	
	用紙節約	上余白の削減	削減しない
		下余白の削減	削減しない
		行間の削減	削減しない
		改行の削減	削減しない
		バーコード高さの削減	削減しない
	バックフィードによるトップマージン量	無効 (15.0mm)	
文字高さの削減	削減しない		
自動用紙カット	カバークローズ時に用紙を自動カットする		

メンテナンスカウンター

項目		説明
プリンター情報	プリンター名	プリンター名が表示されます。
	搭載フォント	プリンターに搭載されているフォントが表示されます。
	シリアル番号	プリンターのシリアル番号が表示されます。
	ファームウェアバージョン	プリンターのファームウェアバージョンが表示されます。
現在の設定	ロゴの登録	登録されているロゴの数と、メモリーの使用量および全体量が表示されます。
	用紙節約	用紙節約の設定が表示されます。
	自動用紙カット	自動用紙カットの設定が表示されます。
	印刷制御	用紙幅 - 桁数、印字速度、印字濃度、多階調印字濃度、オートカッターエラー解除方法の選択の設定が表示されます。
	デバイスフォント	デバイスフォントのコードページおよび国際文字セットの設定が表示されます。
	メンテナンスカウンター	メンテナンスカウンターが表示されます。 <a href="#">17 ページ「メンテナンスカウンター」</a> を参照してください。

## メンテナンスカウンター

メンテナンスカウンターの値の表示と、リセット可能な値をリセットできます。



項目		説明
紙送り量 [km]	リセット可能	プリンターの紙送り量を表示します。 [リセット]を押すと、値が0.000に戻ります。
	積算	プリンターの紙送り量(積算値)を表示します。
オートカッター駆動回数[回]	リセット可能	プリンターのオートカッター駆動回数を表示します。 [リセット]を押すと、値が0に戻ります。
	積算	プリンターのオートカッター駆動回数(積算値)を表示します。

## ロゴの登録

プリンターに登録するロゴデータの設定をします。  
[メイン]-[基本設定]-[ロゴの登録]で表示します。

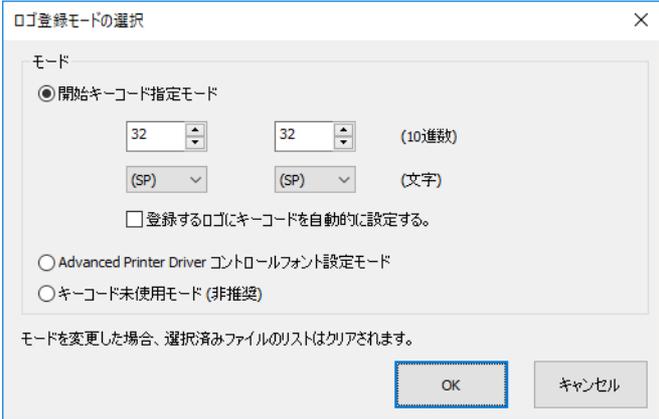
### 参考

プリンターに登録されているロゴは、以下のことはできません。

- ロゴデータの再編集
- プリンターへの再登録
- ファイル保存

[ロゴの登録]には、以下の機能があります。

項目	説明
ロゴ登録モード	プリンターのロゴ登録モードを表示します。モードは[モード変更]で指定できます。
キーコードリスト	プリンターに登録されているロゴと、プリンターに追加するロゴファイルを表示します。
キーコード	プリンターに登録済みのロゴ： ロゴデータのキーコードの左側に☑が表示されます。 追加するロゴファイル： 設定するキーコードのみ表示されます。
画像ファイル	プリンターに登録済みのロゴ： (登録済)が表示されます。 追加するロゴファイル： 画像ファイル名が表示されます。
サイズ[バイト]	プリンターに登録済みのロゴ： 表示されません。 追加するロゴファイル： 画像ファイルのサイズが表示されます。
追加	画像ファイルを追加します。
編集	画像ファイルのハーフトーンや明るさを編集します。

項目	説明
削除	ロゴを削除します。
テスト印刷	選択したロゴを印刷します。 ロゴに [ 倍率 ]、[ 配置 ] を設定すると、設定した結果の大きさと位置で印刷します。
モード変更	<p>ロゴの登録モードを変更します。[ モード変更 ] をクリックすると、" ロゴ登録モードの選択 " 画面が表示されます。</p> 
開始キーコード指定モード	<p>ロゴ管理用の識別コードを指定します。</p> <p>登録するロゴにキーコードを自動的に設定する。</p> <p>チェックすると、登録するロゴにキーコードを自動的に設定します。チェックを外すと、ロゴを追加または編集するときにキーコードを設定します。</p>
Advanced Printer Driver コントロールフォント設定モード	Windows プリンタードライバー (Advanced Printer Driver Ver.5) の場合、キーコードの代わりに、control フォント (h ~ l) で管理します。
キーコード未使用モード (非推奨)	-
プレビュー	プリンターに登録する前の、ロゴのイメージが表示されます。登録済みのロゴのイメージは表示されません。
倍率	キーコードリストで選択したロゴの倍率を設定します。設定した結果は、[ テスト印刷 ] またはプレビューで確認できます。実際に使用する場合には、コマンドから倍率を指定してください。
配置	キーコードリストで選択したロゴの印刷位置を設定します。設定した結果は、[ テスト印刷 ] またはプレビューで確認できます。実際に使用する場合には、コマンドから配置を指定してください。
ロゴインジケータ	インジケータ：プリンターのロゴ登録可能メモリーサイズ 追加ロゴサイズ：リストに表示されているロゴのサイズ 使用量：登録済みロゴのサイズ
ファイルに保存	画像ファイルを、ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) または、ビットマップファイルで保存します。
プリンターに登録	画像データを、プリンターに登録します。

## ロゴの登録

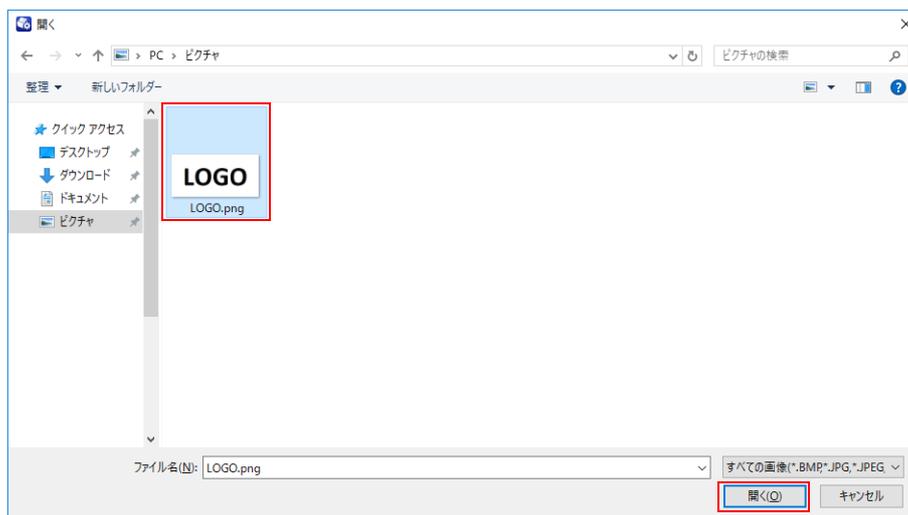
複数のロゴを登録する場合、まとめて一度にプリンターに登録することをお勧めします。  
以下の手順でロゴを登録します。

### 1 [追加] をクリックします。

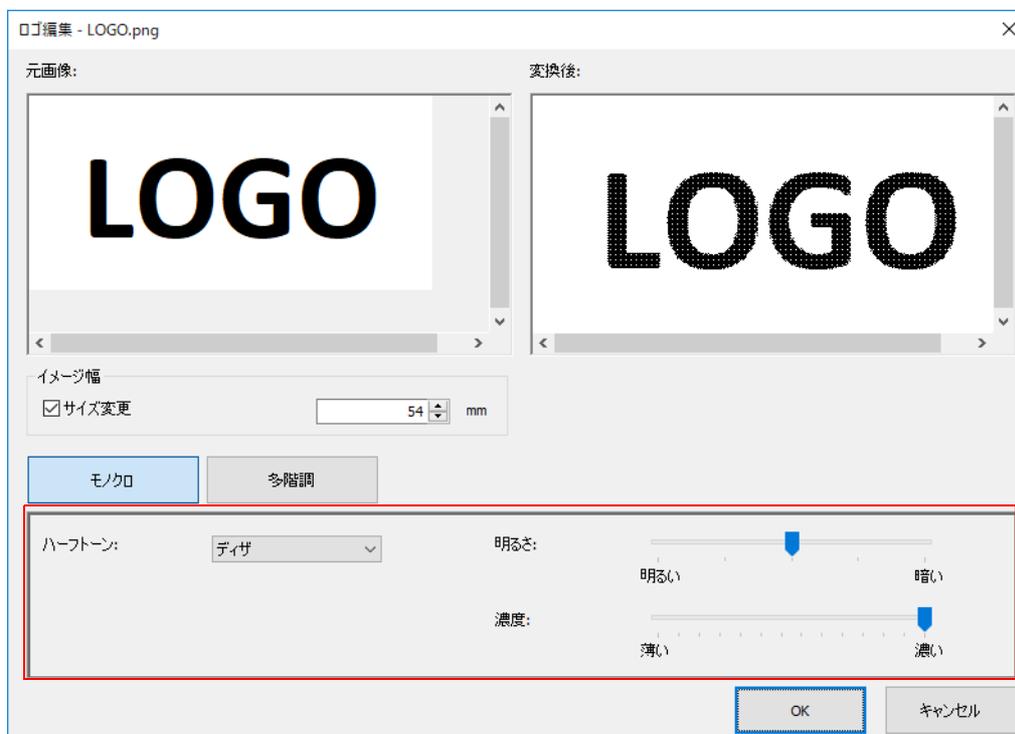


### 2 プリンターに登録する画像ファイルを指定し、[開く] をクリックします。

指定可能なファイルサイズは、幅 2047 x 高 831 ピクセル (ドット) 以下の bmp, jpeg, gif, png ファイルです。ロゴの幅が用紙幅を超える場合は警告メッセージを表示します。[OK] をクリックし、手順 4 の "ロゴ編集" 画面で縮小してください。



- 3 "ロゴ編集"画面が表示されます。[モノクロ]または[多階調]をクリックし、出力する画像フォーマットを選択します。[モノクロ]の場合は2色に、[多階調]の場合はグレースケールで16色(階調)に減色します。
- 4 画面上部のプレビューを参照して、イメージデータを設定します。設定が終了したら、[OK]をクリックします。

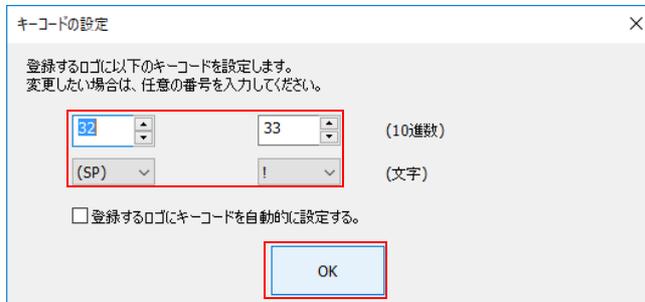


設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
イメージ幅	リサイズ後の画像サイズを設定します。(設定値は mm です。)
サイズ変更	サイズの変更の有 / 無を設定します。 チェックしない場合、画像のサイズで印刷されます。画像が大きい場合、用紙幅を超える部分は印刷されません。
ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。 手順 3 で [モノクロ] を選択した場合、[ディザ]/[誤差拡散]/[なし] から、[多階調] を選択した場合、[ディザ]/[なし] から選択します。
明るさ	明るさを設定します。手順 3 で [モノクロ] を選択した場合、5 段階から、[多階調] を選択した場合、15 段階から選択します。
濃度	印刷の濃度を設定します。

- 5 ログ登録モードが [ 開始キーコード指定モード ] で、[ 登録するロゴにキーコードを自動的に設定する ] にチェックされていない場合、" キーコードの設定 " 画面が表示されます。キーコードを設定し、[ OK ] をクリックします。

[ 開始キーコード指定モード ] 以外のログ登録モードや、[ 登録するロゴにキーコードを自動的に設定する ] がチェックされている場合、" キーコードの設定 " 画面は表示されません。



- 6 リストにロゴデータが追加されます。複数のロゴデータを登録する場合、手順 1 ~ 5 を繰り返します。この段階では、プリンターにロゴは登録されていません。

- 7 プリンターに登録するロゴデータをすべて追加後、画面右のインジケーターでプリンターに登録可能なサイズを確認し、[ プリンターに登録 ] をクリックします。



- 8 ログデータがプリンターに登録されます。また、ログデータはロゴ登録ファイル（TLGファイル）にも保存されます。



## ロゴ登録ファイルについて

ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) は、ロゴをプリンターに登録したときに、上書き保存されます。このファイルには、最後にプリンターに登録したロゴのデータしか保存されません。そのため、複数のロゴデータをロゴ登録ファイルに保存したい場合、すべてのロゴデータを一度でプリンターに登録してください。すでにプリンターに登録済みのデータを保存するには、以下の手順を実施してください。

- 1** プリンターに登録済みのロゴをすべて削除します。  
18 ページ「[ロゴの登録](#)」を参照してください。
- 2** プリンターに登録するロゴデータをすべて用意します。
- 3** 本ユーティリティにすべてのロゴを追加し、プリンターに一度で登録します。  
この手順により、すべてのロゴデータを含むロゴ登録ファイル (TLG ファイル) が作成されます。  
20 ページ「[ロゴの登録](#)」を参照してください。

## 用紙節約

### 参考

ロゴのイメージ印刷やページモード印刷の場合、用紙節約を設定しても用紙を節約できないことがあります。印刷方法ごとの節約できない条件は以下のとおりです。

- Advanced Printer Driver Ver.5 :  
回転印刷、バーコードの回転など。\*
- UPOS (OPOS ADK, OPOS ADK for .NET) :  
ページモード印刷、回転印刷、ビットマップ/バーコード/文字を横にならべて印刷するなど。

\* プリンタードライバーには、印刷データの上下の余白を用紙節約する機能があります。詳細はプリンタードライバーのマニュアルを参照してください。お客様の使用環境で印字結果をご確認の上でお使いください。

用紙節約の設定をします。  
以下の手順で設定します。

- 1 [メイン] - [基本設定] - [用紙節約] をクリックします。
- 2 画面の右側に表示されるプレビューを参照して、用紙節約の設定をします。



### 参考

Advanced Printer Driver Ver.5 がグラフィックモードの場合、[上余白の削減] と [下余白の削減] 以外の設定は無効になります。

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
上余白の削減	上余白の削減の有無を選択します。[削減する] にすると、印刷開始から最初の印刷データまでの余白を削減します。
下余白の削減	下余白の削減の有無を選択します。[削減する] にすると、最終印字行からオートカットまでの余白を削減します。
行間の削減率	印刷行の、紙送りの縮小率を選択します。最小の紙送り量は 2 ドットです。

項目	機能
改行の削減率	空白行の紙送り量の縮小率を選択します。上余白節約で削除された行は対象外です。改行のみで紙送りしてマニュアルカットする場合、この設定で紙送り量が少なくなり、最終印刷行がカット位置まで紙送りされないことがあります。
バーコード高さの削減率	バーコードエレメントの高さの縮小率を選択します。バーコードの高さが30ドット以下には縮小しません。 この設定により、バーコードサイズの規格を満たさなくなることがあります。
バックフィードによるトップマージン量	バックフィードによるトップマージンの量を選択します。初期値は"無効(15 mm)"で、バックフィードしません。
文字高さの削減量	文字高さの削減量を選択します。 文字内の余白と文字の高さを縮小できます

<b>参考</b>	<p>バックフィードを行う設定にした場合、以下の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カットした用紙が残っている状態で次の印字を行った場合、用紙が詰まる可能性があります。</li> <li>• バックフィード中に用紙をつかむと、次回印刷時に印字乱れが発生します。</li> <li>• 印刷速度が低下します。</li> </ul>
-----------	---



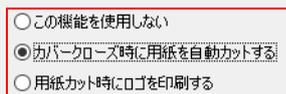
### 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[15 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

## 自動用紙カット

カバーを閉めたときの、オートカットやオートカット時のロゴ印刷の設定をします。  
以下の手順で設定します。

- 1 [メイン] - [基本設定] - [自動用紙カット] をクリックします。
- 2 設定する項目を選択します。



項目	機能
この機能を使用しない	オートカットの機能を無効にします。 手順4に進んでください。
カバークローズ時に用紙を自動 カットする	カバーを閉めたときに、オートカットします。 手順4に進んでください。
用紙カット時にロゴを印刷する	オートカット時にロゴを印刷します。手順3に進んでください。

### 3 [用紙カット時にロゴを印刷する]を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
トップロゴ	用紙の最初に印刷するロゴを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>キーコード： 印刷するロゴのキーコードを選択します。</li> <li>配置： ロゴの印刷位置を選択します。</li> </ul>
ボトムロゴ	用紙の最後に印刷するロゴを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>キーコード： 印刷するロゴのキーコードを選択します。</li> <li>配置： ロゴの印刷位置を選択します。</li> </ul>
条件	ロゴ印字の動作条件を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>コマンドによる用紙カット時： 本項目のチェックは外せません。</li> <li>カバークローズ時： カバークローズ時にトップロゴ印刷するか設定します。</li> <li>電源 ON 時： この設定にすると、プリンターの設定を変更するたびに、プリンターがリセットされ、用紙をオートカットしてトップロゴが印刷されます。</li> </ul>
上余白の削減	[ トップロゴ ] の設定で印刷されるロゴの、上余白を節約できます。[ トップロゴ ] を設定した場合のみ設定可能です。[ トップロゴ ] の途中 ( 上端から 13 mm ) に白線が入る場合があります。そのため、お客様の使用環境で印字結果をご確認の上でお使いください。

### 4 他の項目を設定する場合は、[設定]をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[15 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。



# デバイスフォント

デバイスフォントや国際文字セットの設定をします。

## 参考

- Advanced Printer Driver Ver.5の場合、[コードページ]と[国際文字セット]の設定は無効です。
- OPOS ADK の場合、OPOS 側で設定したコードページが有効になります。

以下の手順で設定します。

- 1 [メイン] - [詳細設定] - [デバイスフォント] をクリックします。
- 2 フォントの設定をします。

OPOS ADKを利用する場合は、SetupPOSでフォントを設定する必要があります。

コードページ:

国際文字セット:

テスト印刷

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
コードページ	デバイスフォントのコードページを選択します
国際文字セット	国際文字セットを選択します。
テスト印刷	設定されたデバイスフォントのフォントパターンが印刷されます。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[15 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

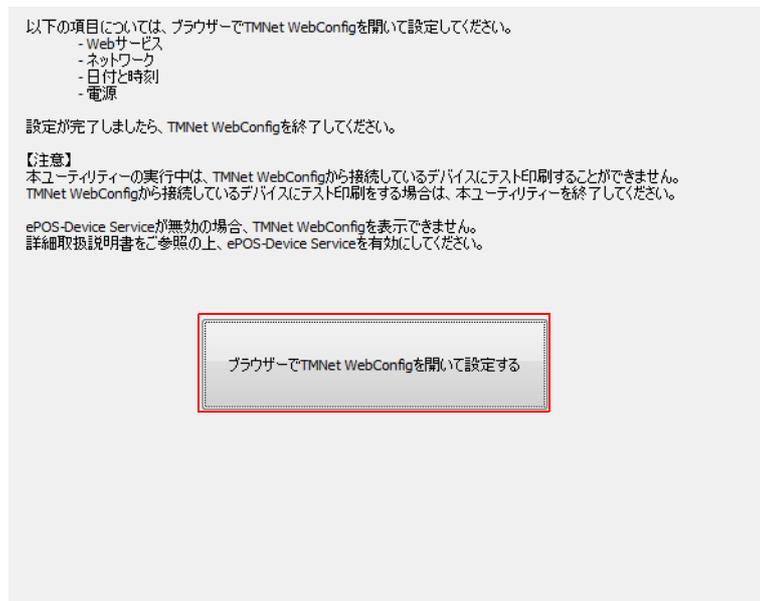
# TM-Intelligent/Network

以下の機能は、ブラウザで TMNet WebConfig を開いて設定します。

- TM インテリジェント機能
- Web サービス
- ネットワーク
- 日付と時刻
- 電源

以下の手順で TMNet WebConfig を起動します。

- 1 [TM-Intelligent/Network] をクリックします。
- 2 [ブラウザで TMNet WebConfig を開いて設定する] をクリックします。



### 3 TMNet WebConfig が起動します。TMNet WebConfig でインテリジェント機能 / ネットワークの設定をします。

現在の状態	
<b>管理情報</b>	
管理者名	
設置場所	
<b>Webサービス機能</b>	
Webサービス機能	有効
<b>Webコンテンツ更新状況</b>	
Webコンテンツの自動更新	毎日 00:00
Webコンテンツのインストール日時	2018/10/02 16:47:38
最終自動更新日時	未実行
自動更新の結果	未実行
<b>サーバーダイレクトプリント</b>	
実行状態	停止中
ID	
	間隔(秒) 5
サーバー1	最終実行日時 未実行
	最終実行結果 未実行

#### 参考

- TMNet WebConfig では、1 ページ設定したら [Apply] をクリックして、プリンターに保存してください。設定を保存しないで別のページに遷移した場合、設定値が破棄されます。
- 本ユーティリティから起動した場合、TMNet WebConfig のテスト印字はできません。
- TMNet WebConfig のバックアップは、本ユーティリティの「設定の保存」で行います。TMNet WebConfig 側でバックアップファイルを作成する必要はありません。

### 4 設定が完了したら、TMNet WebConfig を終了してください。

# 動作テスト

プリンターが正常に動作するかを確認します。  
以下の手順で確認します。

- 1 [動作テスト] をクリックします。
- 2 動作確認したい項目をクリックします。

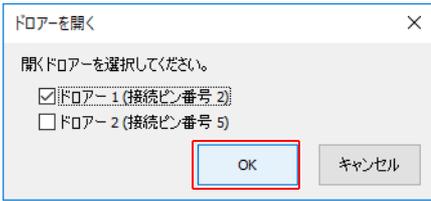


動作確認する項目は以下のとおりです。

- 印刷テスト

項目	説明
テスト印刷	テスト印刷します。正常に印刷されるか確認します。
ロゴ印刷	プリンターに登録されているすべてのロゴを印刷します。
フォント印刷	プリンターに搭載されているフォントを印刷します。

- デバイステスト

項目	説明
通信テスト	コンピューターとプリンターの通信ができるかどうかを確認します。
ドローアを開く	<p>プリンターに接続されているドローアを開きます。 [ドローアを開く] をクリックすると、「ドローアを開く」画面が表示されます。テストするドローアを選択し、[OK] をクリックします。</p> 

## 設定の保存と復元

本ユーティティで設定した「プリンターの設定」や「ロゴデータ」と、TMNet WebConfig で設定した「TM インテリジェントの設定」や「ネットワークの設定」をファイルに保存したり、設定をファイルからプリンターに復元したりします。

### プリンターの設定をファイルに保存する

以下の手順で保存します。

- 1 [設定の保存と復元] をクリックします。
- 2 [保存] をクリックします。保存の確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。



The screenshot shows a dialog box with two main sections: '保存' (Save) and '復元' (Restore). The '保存' section contains the text 'TM-T88VI-DT2 UtilityやTMNet WebConfigで設定した値を保存します。' and a '保存' button. The '復元' section contains the text 'TM-T88VI-DT2 UtilityやTMNet WebConfigで設定した値を復元します。', a 'ファイル名:' label with an input field, a '参照' button, a '説明' label with a text area, and a '復元' button. At the bottom, there is a '【注意】' (Note) section with a warning message about ePOS-Device Service.

保存  
TM-T88VI-DT2 UtilityやTMNet WebConfigで設定した値を保存します。

復元  
TM-T88VI-DT2 UtilityやTMNet WebConfigで設定した値を復元します。

ファイル名:

説明

参照

復元

【注意】  
ePOS-Device Serviceが無効の場合、設定の保存および復元はできません。  
詳細取扱説明書をご参照の上、ePOS-Device Serviceを有効にしてください。

- 3 "名前をつけて保存" 画面が表示されます。ファイル名と保存先を指定して保存します。
- 4 保存が成功した場合、成功メッセージが表示されます。

## 設定をプリンターに復元する

### 参考

あらかじめ、設定ファイルを用意してください。

以下の手順で復元します。

- 1 [設定の保存と復元] をクリックします。
- 2 [参照] をクリックし、復元する設定ファイルを指定します。



The screenshot shows a web interface for printer settings. It has two main sections: '保存' (Save) and '復元' (Restore). The '保存' section has a '保存' button. The '復元' section has a 'ファイル名:' input field, a '説明' text area, and a '復元' button. A '参照' (Reference) button is highlighted with a red box. Below the '復元' section, there is a note: 【注意】 ePOS-Device Serviceが無効の場合、設定の保存および復元はできません。詳細取扱説明書をご参照の上、ePOS-Device Serviceを有効にしてください。

- 3 [復元] をクリックします。復元の確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。
- 4 復元が成功した場合、成功メッセージが表示されます。

### 参考

復元が完了するのに、数分かかります。

# Acknowledgements

## About the Info-Zip License

This utility incorporates compression code from the Info-ZIP group.

-----  
This is version 2009-Jan-02 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable's startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

---

## About the picojson License

This utility includes picojson.

-----  
Copyright 2009-2010 Cybozu Labs, Inc.

Copyright 2011-2014 Kazuho Oku

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.